

科目番号	52130	分類	研究	履修者	高度実践助産コース	学年
科目名	助産学特別研究 (Research in Midwifery)					1-2 配当セスター 通年
担当者	○渡邊香 他2名	区分	助産師プログラム	必修	単位 8	時間数 240
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連	
【概要】 科学的エビデンスに基づく助産ケアを実現するために、研究の立案から成果の公表までの一連の研究過程を修得する。実践現場での研究のあり方・やり方の姿勢を学ぶ。 【目標】 1. 実践現場等の疑問から課題を選択し、適切な研究方法を用いて問題解決・改善に役立つ研究を展開し、結果を公表する一連の研究方法を説明できる。 2. 一連の研究過程を通して、研究的視点で既存エビデンスを批判的に吟味し、実践現場で「使える」か否かを見極める説明できる。 3. 現場で実際に提供されている助産ケア・母子支援の科学的根拠を探求して、エビデンスを「創る」能力を習得し、それを実現するために「伝える」ことができる。 複数の教員の指導のもと、多面的な視点からの研究姿勢を修得する。					○	1. 自律して自然分娩の支援ができる能力
					○	2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力
					○	3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力
					○	4. 周産期の救急時に対応できる能力
					○	5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力
					○	6. 研究・開発能力
					○	7. 倫理的意思決定能力
授業計画						
回	内 容					担当教員
1回 ～ 120回	研究課題の選択①関連領域に関する文献検討 ②研究課題の明確化 研究計画書の立案、研究方法（デザイン）の検討 研究計画書作成：中間発表 倫理審査 データ収集と分析 結果の考察・評価 論文作成 発表 公表へ向けて準備					渡邊 他2名
事前・事後学習	事前学習：担当教員の指導のもとに、1つの研究テーマを掲げ文献検討を十分に行う。 事後学習：担当教員からの指導を生かし復習する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。					
評価の方法	研究への取り組み姿勢、論文の内容を研究指導教員が判断・評価する。 研究発表会においてプレゼンテーション、ディスカッション等を通して研究審査員が評価を行う。 フィードバックは適宜行う。					
参考図書・資料等	授業で紹介するテキストを各自で精選して購入 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。					
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。					